

# ウォーターPPPってなに？

「ウォーターPPP」を一言でいえば

市町村が行ってきた上下水道事業を

民間企業の知恵やノウハウを借りて

より効率的に運営する仕組みです。



上下水道施設の持ち主を市役所のままにして、運営のやり方を民間のプロに長期間任せることで、将来にわたり安く安全な水を守ろうとする工夫がウォーターPPPです。

なお、その正式名称が「水道分野（ウォーター）の公共施設等運営事業等（Public Private Partnership）」とされることから、その頭文字をとって「ウォーターPPP」と称されます。

## 1 なぜ今、ウォーターPPPが必要なの？

磐田市を含む日本の上下水道は、これから厳しい環境に直面します。

昔に作った多くの水道管や下水道施設が寿命を迎え（老朽化）、さらに地震に強い施設とすることも求められているので（耐震化）、今まで以上に多くの工事や修繕に関する費用が必要になります。

また、日本全国の課題である少子高齢化により、水を使う人が減り、上下水道に関する料金収入が減り、（収入減少）水道を管理する専門の職員も足りなくなっています。（人手不足）

## 2 ウォーターPPPにより何が変わるの？

これまでは、「どの水道管や下水道管をいつ直すか？」から「どこの点検や修理を行うか？」について市役所が全て決めて行ってきました。

ウォーターPPPは、「これまでとおり市役所の施設として責任を負う」としたまま民間企業と「このエリアの管理を10年分お任せします」と長期契約することで、企業の効率的な機材導入や人員配置が可能になり、コストを抑えることができます。

また、民間の知恵を借りることから、例えば漏水検知センサーなど最新のIT技術を導入しやすくなり、無駄な工事や故障を減らすことが期待できます。

### 3 私たちの影響は？

- ・ 民間の効率化によってコストが下がれば、将来的な上下水道料金の値上げ幅を抑えることが期待できます。（負担増の回避）
- ・ 専門職員の不足に悩む市役所を民間がサポートすることで、蛇口から安全な水が出ることやトイレの水を流せる当たり前の生活を守れます。（サービスの維持）

### 4 今後の磐田市は？

磐田市は現在、下水道の豊岡処理区においてウォーターP P Pの導入に関する調査をしています。

今後も持続的な管理運営に取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

